



関西学院という恵まれた環境のもと
主体性と協調性が養われた。

関西学院大学 教育学部 4回生
大谷 浩介 さん

小学校教員就職予定

- Q 初等部時代の思い出、印象的な出来事を教えてください。
6年生の体育祭で、組体操を成功させたことが一番印象に残っています。男子45人タワーは練習で一度も成功しておらず不安がありましたが、本番では男女それぞれのタワー、そして90人ピラミッドもミスなく完成。皆が一致団結した瞬間であり、当時感じた達成感は今でも忘れられません。
- Q 初等部卒業後の学生生活について教えてください。
中学部と高等部では野球部に全力で取り組みました。特に高等部では、130人も部員がいる中で、チームのためにできることを考えて日々実践。部活動でたくさんの人と交流し生活することで養われた主体性と協調性は、今の自分にとって大きな財産になっています。
- Q 4月からの新生活に向けて、抱負をお願いします。
4月からは小学校教員としての生活が始まります。子どもたちに対して多大な影響力をもつ職業であり、その分責任も大きいです。大変なこともあると思いますが、野球部で培ってきた根性と、憧れの職業についている誇りを忘れず、「Mastery for Service」を体現できる教員へと成長していきたいです。
- Q 初等部の後輩たちへメッセージをお願いします。
「初等部の頃からもっと英語を頑張っていれば」「もっと読書の習慣がついていれば」と考えることがあり、何事も早く始める方がよいと実感しています。初等部、そして中学部、高等部、大学には皆さんの挑戦を応援してくれる仲間や施設がそろっています。さまざまなことにチャレンジし、経験を積み、充実した学校生活を送ってください。



初等部時代



初等部での豊富な経験が
今のわたしを形成している。

大阪大学 医学部 4回生
渥美 莉子 さん

医学部在籍中

- Q 初等部時代の思い出、印象的な出来事を教えてください。
毎朝の礼拝が最も印象に残っています。一日に一回心を落ち着かせていろいろな人の話に耳を傾けることはよい経験であり、「礼拝での話が今後生きてくる」という部長先生の言葉は真実だったと実感しています。また、関西学院の先輩である日野原重明先生のお話を聞く機会が、医師に憧れるきっかけとなりました。
- Q 初等部卒業後の学生生活について教えてください。
医師をめざすために他校に進学しました。中学では部活のバレーボールに熱中したり、高校では療養プログラムや数学甲子園などさまざまな活動に参加したりと、充実した学生生活を送りました。また、大学では勉強はもちろん、「今しかできないことをしよう!」と遊びにも全力で取り組んでいます。
- Q 4月からの新生活に向けて、抱負をお願いします。
現在は医学部4年生として勉強に励んでいます。1月からは病院実習が始まり、今まで以上に責任感とやりがいを感じる毎日です。周りの同級生が先に社会人になっていくことを少し寂しく思いつつ、残り2年間、自分の選んだ道で精進していきます。
- Q 初等部の後輩たちへメッセージをお願いします。
初等部での経験は、今の私を形成する大切な一部です。「わたしたちは見えるものではなく、見えないものに目を注ぎます。」という言葉に胸に、皆さんもたくさんの方に挑戦してください。その経験が必ずや将来の糧になるはず。私自身、生まれ変わってもまた関西学院初等部に入学したいと思います!



初等部時代

関学ファミリーからのメッセージ



初等部時代

関西学院大学 人間福祉学部 4回生
田中 亜美 さん

卸売業界就職予定

- Q 初等部時代の思い出、印象的な出来事を教えてください。
体育祭はとても思い出深いです。競技種目では勝つために策を練ったり、演舞種目では学年で一つのものを上げる為に時間をかけて練習したりしました。特に90人ピラミッドが成功した時は達成感がありました。また、体を動かす事が好きだったため、選抜リレーに何度も出場することができたことも印象深いです。
- Q 初等部卒業後の学生生活について教えてください。
高等部ではサービスマンズ(チアリーダー)に所属、大学でも応援団総部チアリーダー部に所属し応援活動に注力。初等部のキッズチアの指導に何度も足を運びOGとして感慨深い時間でした。また、体を動かす事の楽しさを学びにするため、人間福祉学部に進学し保健体育科の教員免許取得に向け勉学にも励みました。
- Q 4月からの新生活に向けて、抱負をお願いします。
4月からは社会人への一歩を踏み出します。右も左も分からない中ではありますが、これまでの経験を活かし、社会に貢献ができるよう「Mastery for Service」の精神を忘れずに日々成長していきたいです。
- Q 初等部の後輩たちへメッセージをお願いします。
自分がやりたいと興味をもったこと、続けられると思ったことに挑戦してください。また、初等部での友達・仲間を大切にしてください。これからたくさん悩んだり、壁にぶつかったりした時に友達はあなたの心の拠り所・支えになってくれます。最後に、初等部での学びを楽しんでください。今の環境が当たり前と思うのではなく、感謝の心と謙虚さをもって成長して欲しいと思います。



“Mastery for Service”の精神を身につけ、
社会に出た後も日々成長していきたい。



初等部時代

関西学院大学 経済学部 4回生
占部 雄軌 さん

金融業界就職予定

- Q 初等部時代の思い出、印象的な出来事を教えてください。
特に心に残っているのは音楽の授業です。たくさん歌って、演奏して、音楽の楽しさを教えてもらいました。また、授業では讃美歌を歌うことが多く、音楽を通して聖書の教えを学ぶよい機会になりました。苦しいときは讃美歌に何度も勇気づけられ、自分の人生の支えになったと感じています。
- Q 初等部卒業後の学生生活について教えてください。
中学部・高等部ではラグビー部に所属し、中高を通じて主将を務めました。大学ではアメリカンフットボール部に入学し、4年次は主将として史上3度目の大学日本一5連覇に挑戦。徹底してやりきるという思いを込めて「Drive」というスローガンを決めました。自分たちのこだわりを「Drive」したことで、5連覇を達成できたと思います。
- Q 4月からの新生活に向けて、抱負をお願いします。
4月からは社会人として働きます。15年間お世話になった関西学院を離れることは不安に思いますが、「Mastery for Service」を胸に、常に成長し社会に貢献できる人間になります。
- Q 初等部の後輩たちへメッセージをお願いします。
『讃美歌21』60番には、「なまももしらない野の花も神様は咲かせてくださる」という歌詞があります。この言葉の通り、自分を強くもって行動する「信念」があれば、いつか必ず目標を達成できると信じています。今いる環境で成長できるか、逆境を乗り越えられるかはすべて自分次第です。皆さんも「信念」をもって頑張ってください。



初等部で学んだ讃美歌から
「信念」をもつ大切さを学んだ。